飯豊連峰の思い出

1315　S.E.

☆ほろ苦い飯豊デビュー

　飯豊に初めて登ったのは山登を始めたのが60 歳と遅く 61 歳の時ハイキングクラブの山行飯豊縦走に参加したのが初めてです。リーダーは当時の会長の A さんでサブリーダーは幹事のＫさんでした。参加者は私を入れて男性５人ジャンボタクシーで今は通行禁止の小白布沢の登山口迄入り横峯小屋跡で御沢キャンプ場からのコースに合流、剣ヶ峰の岩稜を越え三国岳の小屋で休憩します。時期は飯豊の花の綺麗な７月の終わりお天気にも恵まれ途中の駒返しの岩場も過ぎアップダウンの尾根道を過ぎ今晩の宿の切合の小屋に到着、

夕日に染まる頼母木小屋前で

小屋は混んでいて夕食は小屋提供のカレーを外のテント場で食べました。翌朝も小屋提供の朝飯を食べ６時に出発草履塚を越え岩稜の御秘所も越えキツイ登の御前坂も越え一ノ王子のテント場の広場に着きリーダーが水場が見たいと言うので２分近く下りた所に冷たい清水が出ていました。此処より少し登った所が本山小屋、すぐ先が飯豊神社でお守りを買いました。約 20 分位で飯豊本山に着き休憩の後御西の小屋を目指します。本山手前で飯豊の固有種のイイデリンドウを見つける事が出来ました。途中駒形山から草月平のお花畑は見事一面のニッコウキスゲ又他の花もいろいろ咲いて居ました。昼に御西の小屋に着き昼休します。小屋の横に新しい小屋の建て替え中でした。休憩後飯豊の最高峰の大日岳を往復します。最高峰からの見晴は抜群飯豊は雄大です。小屋に帰って 350 ミリ 1000 円のビールで乾杯、各々夕食を作り食べ日の暮れる前に寝袋の中へ。

　翌日も天気は良くお花咲く登山道を天狗岳を越え御手洗ノ池も過ぎ烏帽子岳、梅花皮岳も越え梅花皮小屋で昼ご飯を作ります。小屋のすぐ近くに水場が有り豊富な水がパイプから出ていました。小屋の目の前は石転沢、何時か石転の雪渓を登ってみたいです。北股岳も越え門内小屋も過ぎ梶川尾根の分岐も過ぎ地神山を越し、地神北峰で丸森尾根とも別れ頼母木山も越し今夜の宿の頼母木小屋に着きました。この後俺に悲劇が待っていました。

飯豊の星　イイデリンドウ

お天気も良いので小屋の外で夕食を作り夕日を見ながら小屋で買ったビールで乾杯夕食を食べました。持参のウイスキーを飲み干しそ

こで終わりにすれば良かったのに他人のウイスキーと焼酎を貰い悪酔いしてしまい記憶が途切れてしまいました。飲み食いした物を吐いてしまいサブリーダーが面倒みてくれたそうで気が付くと小屋の中で寝かせられていました。

　朝インスタントの味噌汁を飲んだらすぐ吐いてしまい胃薬を飲んでも吐いてしまいました。リーダーからは山の酒は平場の３倍効くと言われましたが山を始めたばかりの素人には分かりません。飲まず食わずでお腹の中は空っぽで歩き出しました。大石山で水を飲んだけれど又吐いてしまい分岐にザックを置きサブザックで飲まず食わずで朳差岳を往復しました。水も飲めないので暑くても汗は出ません。途中の足の松尾根での昼休憩の時少し水も飲めるようになりカロリーメイトも少し食べられました。足の松の急な尾根を二日酔いで殆ど飲まず食わずで下山し林道を奥胎内ヒユッテー迄地獄の行軍でした。ヒユッテーの風呂に入り体重を計ったら4,5 キロ減って居ました。皆さん方は風呂上りにビールを美味しそうに飲んで居ましたが俺はアルコールの匂いを嗅ぐのも嫌に成って居ました（その日だけ）３日目迄はお天気に恵まれ綺麗に咲いた花を見、雄大な景色を眺め天国でしたが最後の４日目は地獄でした。

夕日を見ながら酒を飲み。その後が大変でした

☆一人での飯豊連峰

百名山巡りも終わり後は飯豊と川内の山を少しずつ歩き出し65 歳の８月初めて弥平四郎から大日岳を１泊で往復しました。弥平四郎登山口駐車場に無事たどり着き初めてのコースですが祓川山荘の横を通り斜面に着けられた緩い登のへ吊り道を滑り落ちない様に松平峠に着きそこから急登を疣岩山を越え三国岳へ。小屋前で少し休み此処からは５年前通った道なので安心、切合小屋も過ぎ嫌な御秘所も過ぎ御前坂を頑張り本山小屋も通過、飯豊山で休憩します。お天気は良く雄大な景色

草月平のお花畑

を眺め何時かはダイクラ尾根を歩きたいと眺め花の時期なので草月平のニッコウキスゲの群落や他のお花を眺め御西小屋で宿泊の申し込みをしてザックを小屋に置き大日岳を往復しました。２ 度目なので一人でも大丈夫、２回目の飯豊の最高峰からの眺望を楽しみ小屋に着き水場へ水汲みに行きました。帰って来ると管理人さんがヘッドランプを頭に着け登山靴を履いて居る所でした。こんな夕方何処かへ出掛けるのかと思ったら新津から来たお父さんが大日岳から未だ帰って来ないので迎えに行く所だったと言い帰ったら一声かけてくれと叱られました。小屋は俺の他に１人

大日岳からの飯豊本山

でゆったりできます。管理人さんの話だと昨夜は団体が泊まり小屋は満員だったそうです。俺が新津から来たと言うので前会長のＡさんの事を知っていて新しい小屋を見せてあげたいと言っていました。小屋を朝６時に出発、飯豊山も越え切合わせの小屋も過ぎ三国の小屋も過ぎ疣岩山の先の分岐を松平峠へ行かないで巻岩山を通り上ノ越からの激下りを弥平四郎の駐車場に下りました。途中のブナ林、獣の匂いが強く熊の糞も落ちていて一人で通らない方が良いと思いました。車に着き着替え途中お風呂に入るとビールが飲みたくなるので一人の時は真直ぐ帰ります。

御西小屋を出発

●梶川尾根を登り北股岳を越え梅花皮小屋に泊り翌日丸森尾根を下山８月の末、ゲートすぐ先の梶川尾根は登山口から直ぐ急登、湯沢ノ峰や滝見場も過ぎ五郎清水で休憩し冷たい水を飲み急登を梶川峰に着きました。後は気待ちの良い尾根歩きですが風が強いです。扇ノ地紙で主稜線に着き門内小屋を目指します。稜線は風が強く汗で濡れた衣類は乾きました。門内の小屋も過ぎ北股岳を越え今晩の宿、梅花皮小屋に着き別棟の管理人小屋で宿泊申し込みをし冷えたビールを買い２階で夕食を作り寝ます。数人の登山者が居て殆どの人が県外者で色々と話が弾みます。翌日は余りお天気良くなく北股岳の登で新潟から来た人に会い日本文理高校が決勝に進んだと聞きました。北股岳も越え門内小屋も過ぎ扇ノ地紙も過ぎ地神山も越え地神北峰で頼母木山への道と分かれ丸森尾根へ入ります。小雨に成ったので雨具を着けガレ場の歩き難い下りを慎重に下り丸森峰も過ぎ掘れ込んだ歩き難い道を夫婦清水に着き休憩、清水に寄り冷たい水を飲みます。飯豊はどの登山道もそうですが歩き辛く特に下りは慎重に歩かなければなりません。ヨレヨレに疲れて駐車場近くの飯豊山荘前の登山口に着き温泉に入るとビールが飲みたくなるので帰ります。帰りの車の中で文理高校が決勝で惜しくも負けた試合を聞きながら車を運転しました。

☆杁差岳日帰り

66 歳の時７月下旬の暑い日に奥胎内ヒユッテ一から乗り合いタクシーで足の松登山口迄行き日帰りで杁差岳を目指します。足の松尾根は５年前二日酔いで下った事は有りますが登は初めてです。このコース水場が無いので往復の水３リットルを持参しました。足の松尾根は名前の通り松の根っこにつかまりながらの急登です。途中の岩場を慎重に渡り姫子の峰で休憩、英三ノ峰も過ぎ二つ目の岩場を慎重に渡り滝見場で休憩します。水場分岐からブナ林を登り尾根道に出ます。西ノ峰に着けばもう少しで大石山、此処で頼母木山方面と別れまずは少し下り鉾立峰に登ります。5 年前飲まず食わずで歩いた所ですが記憶に有りません。鉾立の峰も越し大分下りてまた登り杁差の小屋も過ぎ山頂で写真を撮り風が強いので直ぐ下山します。今の時期飯豊はお花が綺麗ですが風が強く綺麗に撮れません。途中風を避けて昼ご飯を食べました。帰りのタクシーの時間に間に合う様に下山しました。この時期飯豊は暑さとの戦い持参した３リットル水は姫子の峰で 500 ㏄１本だけに成りました。何とかタクシーの時間に間に合う様に下山しました。

杁差岳（えぶりさしだけ）1636m

☆怖かった石転び

６月の初め石転びを登り北股岳迄行き又石転びを下るお誘いが来たので参加しました。その為に登山靴を買い替え、10 本アイゼンも買いました。私を入れて男３人で飯豊山荘すぐ先の駐車場で待ち合わせ、ゲートを越え温身平の砂防ダムの所まではハイキングコースですがダムを越えると登山道でへ吊り道も有り危険な所も有ります。雪解け水で水量の多い梅花皮沢の水音は凄いです。雪渓も出てきて雪の上を歩きます。途中で初めてのアイゼンを付けます。雪の上は歩き易いですが川

石転び沢

の上を歩いて居るので雪の穴からはゴーゴーと水の音が凄い、落ちればそれまで死体は出てこないでしょう。途中門内沢へは入らないで石転び出会いで休憩します。いよいよ石転びの登で気を引き締めて登ります。石転びは滑落と又落石に気を付けなくてはいけません。落石が岩に当たり砕けて小さな石が横から飛んで来る事も有るそうです。途中落石や雪崩の跡を見ながら登が急に成りジグザグに登ります。ピッケルは使わないでダブルストックで登ります。１時間歩いても景色は変わりません。下を見ると後続の人が豆粒みたいに小さく見えます。落石の危険が有るので疲れましたが休憩無しで何とか草付きの中の島に到着少し休みます。此処から先が斜度 45 度ある急登で左に少し寄り過ぎたのか下山する人が居て大声で左に寄りすぎだ～少し右に寄り真っ直ぐ登れと言われました。此処が頑張り所 １ 歩 １ 歩と登り梅花皮の小屋が見えると登も緩やかに成り何とか小屋前に着く事が出来ました。休憩の後ザックを置き北股岳を往復し小屋前で昼休憩にしました。帰りも石転びを下ると言われ石転びを見ながらの昼ご飯は下りの事が怖く流石に好きな酒を飲むことが出来ませんでした。下りは怖いのでピッケルを雪に差し込み３歩歩いて又差し込みと時間は掛かりますが滑落すれば 200 メートルは落ちるでしょう。俺より若い先行の２人は急斜面が終わったあたりで待って居てくれました。後は雪の割れ目や穴に気を付けルンルンで下れます。雪渓が終わり疲れた足でのへ吊り道は大変ですが無事砂防ダムに着く事が出来ました。66 歳の時でした。

石転び沢

北股岳

☆厳しかったダイグラ尾根

山の仲間からダイグラ尾根から丸森尾根を下山のお誘いがあり参加しました。男６人で道の駅豊栄に集合２台の車に分乗飯豊山荘すぐ先の駐車場に着き歩きます。７月の海の日の暑い時で水３リトルを持参します。
桧山沢の吊り橋を渡りいきなりの急登です。休場ノ峰、千本峰を越すと岩場の下り、このコースには鎖、ハシゴ、ロープなど人工の物は一切ないので木や岩につかまり下ります。宝珠山を越すのに一苦労６人中４人がバテ

桧山沢の吊り橋を渡る

テしまい元気な２人が宝珠山から先に行き御西の小屋の場所取りに行きます。ダイグラ尾根の核心部の宝珠山越えは大変でピークを幾つも越えなければいけません。水も残り少なくなり雪渓から流れ出た泥交じりの水も飲みました。飯豊山への御前坂が辛く山頂が見えても中々山頂には着きません。
予定では御西の小屋に着いて居る時間にやっと飯豊山でした。先行の二人はこの時間に御西の小屋に着いて居たそうです。持参の水も此処で飲み干し後は水なしで御西の水場迄、夕方で涼しく何とか歩けました。飯豊山から御西岳の間は花の満開の楽園、苦しさが有ればその先の楽しみは倍増です。咲く花に癒され水場に寄り御西の小屋に着きました。計画では此処まで 11 時間 30 分、実際は 14 時間掛かりました。小屋は満員ですが先行の２人が場所は確保して有りますが周りは暗くなり小屋の中での食事は他の人の迷惑に成るので外でヘットランプの明かりを頼りに宴会、食事の後静かに小屋の中に入りました。中は暑く寝袋無しで寝ました。

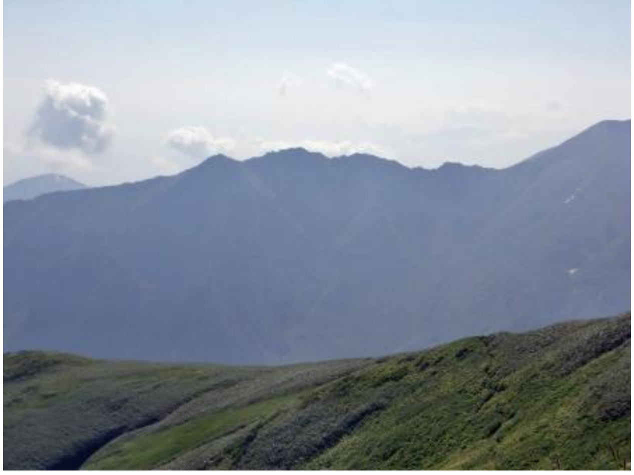
ダイグラ尾根の核心宝珠山

飯豊山

朝の御西小屋

天狗の庭

　一晩寝れば疲れも無く快調に花咲く登山道を天狗の庭、御手洗ノ池、烏帽子岳、梅花皮岳と越え水が豊富な梅花皮小屋の水場で歯磨きなど洗面を済ませ北股岳を越え、門内小屋も過ぎ扇ノ地紙で昼休憩しました。地神山を越え分岐の地神北峰も過ぎ途中の雪渓で水も取れ丸森峰も越え掘れ込んだ歩き難い登山道の下りはこれで３度目です。夫婦清水に寄り休憩、最後は岩だらけの激下りを必死に下り登山口の飯豊山荘前に到着しました。男６人飯豊山荘の温泉に入り良く歩いたとお互い讃え合いました。67 歳の時でした。



昨日歩いたダイグラ尾根

花咲く中を北股岳へ

☆仲間と頼母木山、杁差岳のハクサンイチゲなどのお花見

６月の半ばにハイキングクラブの仲間６人と頼母木山の小屋泊で足の松尾根から大石山を越えその先に咲くハクサンイチゲの群落を見に登りました。飯豊初めての人も居るのでゆっくりと１泊で登ります。ヒユッテ—から先の林道を足の松登山口まで歩き足の松尾根を登ります。途中の岩場も過ぎ姫子の峰で休憩、滝見場も過ぎ途中のヒドノ峰を過ぎ水場の分岐の雪渓で水が取れました。イチジノ峰で昼休憩しました。大石山の杁差岳への分岐から頼母木山に向かう登山道には色々な花が咲いて居てハクサンイチゲの群落は見ごたえが有ります。ゆっくりお花を楽しんで６年前酒を飲みすぎた嫌な思い出の有る頼母木小屋に着き寝る場所を決めて頼母木山に登ります。

足の松尾根の岩場

ハクサンイチゲの群落

お花に囲まれて

ハクサンイチゲ咲く中を

頼母木の小屋は未だ管理人も居ず水も引いてありません。雪渓の雪を溶かして食事用の水や飲み水を作ります。
夕食を食べ杁差方面に沈む夕日を見に出ますが外は寒いです。女性は １ 階で俺は ２ 階で寝たのですがこの時期俺の寝袋は安物なので寒かったです。足の松尾根の下山は登より慎重に足の松登山口に着き昼ご飯を食べて居る

とヒユッテーの車が用が有り来て帰りに全員ヒユッテー迄乗せて貰いました。

２年後高立山の仲間とハクサンイチゲの群落を見に３人で朳差の小屋に１泊して帰りました。

岩場を越えて

此れから歩く鉾立峰と朳差岳

花の時期飯豊の花は綺麗です。この時は翌日が雨で足の松尾根の下りが大変でした。

朳差岳

山頂から見た今晩の宿朳差小屋

☆大日杉から飯豊山

初めて大日杉から飯豊山に登ったのは山の会の山行で切合わせ小屋に管理人のいない頃の秋に登りました。切合わせの小屋に泊翌日飯豊山に登り下山しました。

次に登ったのは 72 歳同士の年男の仲間と登り切合わせの小屋で泊まり翌朝出発が遅く目的の大日岳には時間切れで御西の小屋で引き返しました。

大日杉登山口

ザンゲ坂を

切合小屋の朝

御秘所の登り

本山小屋と飯豊神社

イイデリンドウ

72 歳の年男同士

次の年男性 2 人女性 3 人の 5 人でで大日杉から飯豊山のその先迄目指しましたが悪天候予報で飯豊山で引き返しました翌日暴風雨の中を下山しました。

ザング坂を

花を撮りながら

ハクサンコザクラ

チングルマ

ヨツバシオガマ

大日岳

本山小屋

御秘所の下山

飯豊山で

☆飯豊縦走

飯豊縦走は初めての飯豊山で川入から足の松尾根を、その後足の松尾根から大日杉へ２回、俺の思う縦走とは三国岳から飯豊山、北股岳、前朳差を越え大石ダム迄が縦走かと思います。

66 歳の時山仲間からお誘いがあり俺を入れ男性３人、女性１人で３泊で川入から東俣迄の縦走だそうで参加しました。御沢のキャンプ場から長坂を登り剣ヶ峰を越え三国の小屋で休憩します。切合の小屋で宿泊予定なのでそのつもりで歩き切合の小屋で遅い昼ご飯を食べて居ると時間的にまだ歩けるので御西の小屋まで行くと言い出しました。本山小屋も越え飯豊山に着くと３人はもう通り過ぎていません。せっかく来た飯豊山なのでそこに居た人からカメラのシャッターを押してもらいました。時期は秋で花は余り無く御西の小屋に４時に着きました。小屋は半分くらいの登山者でマアマです。２階を使用夕ご飯を食べ直ぐ寝ます。翌朝６時に出発、御手洗ノ池や烏帽子岳、梅花皮岳も越し梅花皮小屋の水場で歯磨きなどの洗面を済ませ北股岳や門内小屋を越え頼母木の小屋で遅い昼ご飯此処でビールを仕入れ水も補給し大石山や鉾立を越え朳差小屋の二階を使用して泊まります。翌日は６時に出発、朳差からは初めて歩くコースで楽しみです。湿原の綺麗な長者平を過ぎ前朳差岳を越えて千本峰も越え権内ノ峰も越え最後の登をカモス峰に着き後は下るだけ。足の松尾根に似た激下りを川まで下り橋を渡りへ吊り道を歩きブナ林を通り又橋を渡り林道に出ます。此処で河原に下り洗面をしたり大休憩の後ひたすら林道を歩きます。彫刻公園のゲートまで歩き後は迎えの車で帰りました。３泊の予定を２泊で歩き俺は疲れました。

北股岳

頼母木山

カモス峰

☆最後の飯豊縦走

会山行の足の松から大日杉迄の飯豊縦走に参加しました。これが最後の飯豊縦走に成るでしょう。72歳の時でした。

飯豊最後の縦走で会山行に参加

足の松尾根

頼母木小屋で宿泊

頼母木山から小屋を振り返る

主稜線縦走

門内小屋

北股岳で

ギルダ原の熊の檻

梅花皮小屋と北股岳

天狗の庭

お花畑

御手洗の池を過ぎ

お花畑のへ吊り道

今晩の宿は御西小屋

悪天候の飯豊山

御秘所の下山

ザンゲ坂の下山

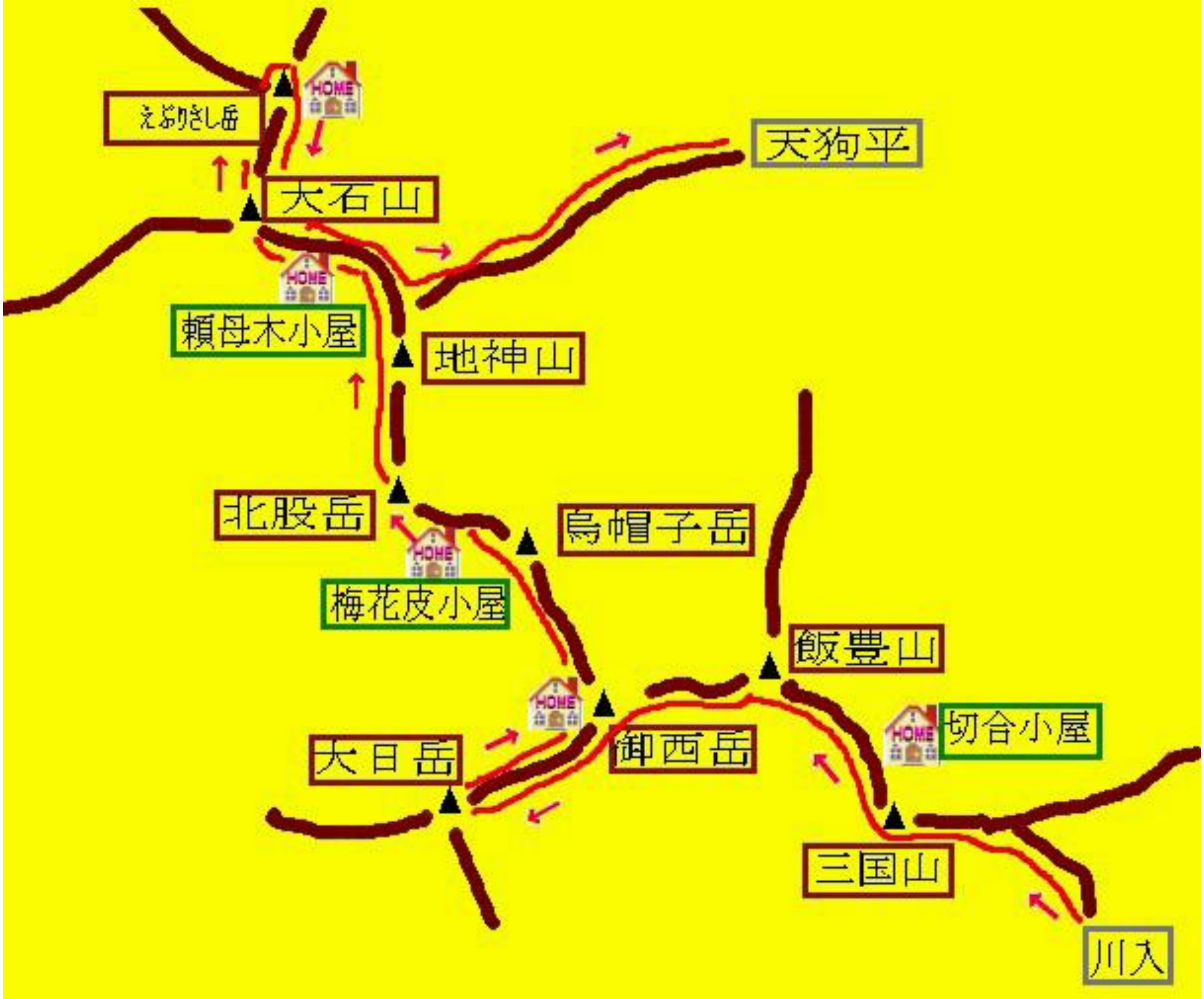
☆飯豊は 61 歳で初め登ってから一昨年の飯豊山で 14 年間飯豊に来ました

通過点の三国岳には 9 回、飯豊山には 11 回、大日岳には 4 回、北股岳には 8 回、朳差岳には 5 回登りました。又使用した登山口は 11 ヶ所、使用した山小屋は 7 ヶ所で宿泊は 25 回.。

今年喜寿の記念に飯豊山に 8 月の終わりか 9 月に登る計画をしましたがコロナの感染.が拡大し小屋泊りに成るので怖くて中止にしました。もう飯豊に登る事は無いでしょう。

11 回目の飯豊山　75 歳で此れが最後かな

飯豊連峰の概念図


えぶりさし岳
HOME
天狗平
大石山
HOME
頼母木小屋
地神山
北股岳
HOME
梅花皮小屋
烏帽子岳
飯豊山
HOME
御西岳
HOME
切合小屋
大日岳
三国山
川入